

## ICTを生かしたこれからの図工・美術の授業 【14:15~14:55】

～VRアートの魅力～



最近話題のVRを図工・美術の授業に取り入れる方法を紹介しします。VRアートは平面に描く絵と違い、仮想空間に立体的に描くので、360度さまざまな角度から鑑賞することができます。VRが図工・美術の制作にどう生かせるかの可能性を探ります。



### 《参加者の感想》（一部抜粋）

- とても先進的でおもしろいが、世界がかけ離れていて頭がついていけなかった。
- 情報量が多かったので、もう少し時間があつたらよかった。
- すぐには取り入れられないことだが、知っておくことは大切だと思った。
- VR体験は、これからの時代に必要な知識だと感じた。様々な児童に合わせた指導には、かかせなくなっていくのだろうと思う一方、自分の手で触れて、目で見るという体験も大切にしないと。と思った。
- 新しい技術について知れて大変面白かった。自分でも色々勉強したい。
- VRについての実用の可能性を知ることができた。一方で立体視できない人もいるなどの面を知ることができ、今後どのような場面で活用できるか、考えるきっかけになった。
- 聞きかじったことはあつたが、専門の方に実演を通して詳しい紹介をしてもらえたことで、身近な教材として感じる事ができた。体験させてもらったのもよかった。
- タブレットによりやく慣れて活用できるようになったところで、新しいコンテンツ！とても興味をもった。どうVRを教育に活用しているか、自分でも調べてみたいと思う。
- VRを図工で使うと考えることがなかったので、ケータイで使えるものから使ってみたい。
- 空間認識ができ、ぜひ活用できるよう進めていこうと思った。
- ipone で3Dカメラが可能になることが分かり、鑑賞の際に使用してみたいと思った。